

# Mizuho Daily Market Report

2024/7/3

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	161.66	161.44	▲0.02	+1.74
EUR	1.0718	1.0745	+0.0005	+0.0031
AUD	0.6649	0.6667	+0.0007	+0.0020
SGD	1.3584	1.3560	▲0.0016	+0.0014
CNY	7.2714	7.2712	+0.0028	+0.0083
MYR	4.7211	4.7212	+0.0075	+0.0160
THB	36.83	36.86	+0.14	+0.21
IDR	16396	16395	+73	+20
PHP	58.80	58.80	+0.15	+0.03
INR	83.52	83.50	+0.06	+0.07
VND	25455	25455	▲1	▲1

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.432%	▲3.0 bp	+18.4 bp
日本(10年)	1.086%	+2.5 bp	+8.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.603%	▲0.4 bp	+19.2 bp
オーストラリア(5年)	4.140%	+1.2 bp	+20.5 bp
シンガポール(5年)	3.251%	+2.3 bp	+9.7 bp
中国(5年)	1.980%	▲2.6 bp	▲3.0 bp
マレーシア(5年)	3.672%	+0.9 bp	+3.2 bp
タイ(5年)	2.477%	+1.9 bp	+4.2 bp
インドネシア(5年)	6.991%	+2.3 bp	+0.2 bp
フィリピン(5年)	6.290%	▲0.5 bp	▲9.7 bp
インド(5年)	7.021%	+0.2 bp	+1.2 bp
ベトナム(5年)	2.120%	+0.0 bp	+1.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,331.85	+0.4%	+0.6%
N225(日本)	40,074.69	+1.1%	+2.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,906.33	▲0.5%	▲0.6%
ASX(オーストラリア)	4,429.66	▲0.5%	▲1.4%
FTSE(シンガポール)	3,367.90	+0.9%	+1.3%
SSEC(中国)	2,997.01	+0.1%	+1.6%
SENSEX(インド)	79,441.45	▲0.0%	+1.8%
JKSE(インドネシア)	7,125.14	▲0.2%	+3.5%
KLSE(マレーシア)	1,597.96	▲0.0%	+0.8%
PSE(フィリピン)	6,358.96	▲0.6%	+1.0%
SETI(タイ)	1,288.58	▲0.8%	▲2.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,269.79	+1.2%	+1.1%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	292.35	+0.3%	+0.1%
金	2,329.46	▲0.1%	+0.4%
原油(WTI)	82.81	▲0.7%	+2.4%
銅	9,527.16	+0.5%	+1.1%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	160.00	—	162.00
EUR/USD	1.0590	—	1.0800
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.3080
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	38.00
USD/IDR	16080	—	16500
USD/PHP	56.70	—	59.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は161円台半ばでオープン。仲値にかけてややドル買い優勢の展開となるも勢いは続かず、その後は動意に欠ける展開に。アジア時間午後になると堅調な日本株の推移を横目に、水準を切り上げて一時161円台後半まで上昇し年初来高値を更新。結局、同水準を維持して161円台後半レベルで海外に渡った。  
アジア通貨は全般的に小幅軟調な動き。下げを主導したインドネシアルピアやタイバーツはそれぞれ対ドルで前日比0.5%安、0.4%安となった。

NY時間のドル円は161円台半ばでスタート。NY午前中はパウエル議長がイベントにて、「ディスインフレ傾向に再開の兆し」、「労働市場は冷え込みつつある」等との発言が伝わると、米金利の低下に伴い、161円台前半まで下落。しかし、その後に発表された米5月JOLT求人件数が予想を上回ると、米労働市場が依然逼迫しているとの思惑から、ドルが買い戻され、161円台後半まで反発。午後は買い一巡の後に小幅反落し、161円台半ばでクローズ。

## 【金利】

昨日の米10年金利は低下。NY時間午前中のパウエル議長発言前後では長期主導で金利低下した後、同時間帯に発表された米5月JOLTSを受けては上昇に転じるも、午後に入ってから買いが入り前日比3bp程度低い4.43%でクローズ。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日の米5月JOLT求人件数の強含みを受け、足元今週金曜の米5月雇用統計への警戒感が高まっており、ドル売りには振れにくい地合いが継続。一方、米国は明日4日が独立記念日で休場、3日も短縮取引となるため、流動性低下の中でドル円が急伸した場合には日銀による為替介入にも警戒。

## 【本日の予定】

(日本) 6月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)  
(アジア) 5月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅  
(アジア) 6月 インド サービス業PMI(確)  
(アジア) 6月 シンガポール PMI  
(アジア) 6月 中国 CaixinPMIサービス業  
(アジア) 6月 豪 PMIサービス業(確)  
(アジア) 6月 韓国 外貨準備高  
(欧州) 5月 ユーロ圏 PPI  
(欧州) 6月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)  
(欧州) 6月 独 サービス業PMI(確)  
(欧州) 6月 英 サービス業PMI(確)  
(欧州) 6月 英 外貨準備高変化  
(欧州) 独 国債入札(10Y)  
(米国) 5月 製造業受注 / 耐久財受注(確)  
(米国) 5月 貿易収支  
(米国) 6月 ADP雇用統計  
(米国) 6月 ISM非製造業景況指数  
(米国) 6月 サービス業PMI(確)  
(米国) 6月 チャレンジャー人員削減数  
(米国) FOMC議事要旨  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。